

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公表番号】特表 2006-523762 (P2006-523762A)

【公表日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報 2006-041

【出願番号】特願 2006-509923 (P2006-509923)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/46 (2006.01)

C 0 9 B 67/04 (2006.01)

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 67/46 A

C 0 9 B 67/04

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 10 日 (2007.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

変性有機着色剤分散液を製造する方法であって、次の工程すなわち

a) i) 少なくとも 1 個のエステル基を有する少なくとも 1 種の有機化学種を含む有機着色剤、ii) 水酸化物試薬及び iii) 水性媒質を任意の順序で一緒にして、前記水酸化物試薬と前記有機着色剤とを反応させて、変性有機着色剤分散液を形成させ、そして

b) この分散液中の変性有機着色剤の粒子サイズを 350 nm より小さいか又は等しい粒子サイズに低減する

工程を含む方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

変性有機着色剤分散液を製造する方法であって、次の工程すなわち

a) 少なくとも 1 個のエステル基を有する少なくとも 1 種の有機化学種を含む有機着色剤の粒子サイズを 500 nm より小さいか又は等しい粒子サイズに低減し、そして

b) i) このサイズ低減有機着色剤、ii) 水酸化物試薬及び iii) 水性媒質を任意の順序で一緒にして、前記水酸化物試薬と前記サイズ低減有機着色剤とを反応とさせて、変性有機着色剤分散液を形成させる

工程を含む方法。